

平成 29 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

44

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	林務後継者育成事業					
予算科目	6 款 2 項 1 目					
予算事業名	林務後継者育成事業					
総合計画での位置づけ	森林を守る林業の振興					
担当課	田園都市課		担当課長	川上 克彦		
事業担当者	亀井 隆行		一次評価者	阿部 桂介		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	・久山町林業振興対策事業補助金交付要綱 ・森林法					
事業の対象	町内各財産区					
事業の目的	林業の担い手が不足していくなかで、知識・技術を継承し、健全な森林を維持していくことを目的とする。					
実施期間	開始年度	平成 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	林業施工の安全性の向上を目的とした講習会の実施や、財産区の後継者育成事業に対する支援を行う。					
目的達成の指標	安全講習会参加人数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	人	30	30	30	30
	実績	人	28	23		
指標設定の考え方	町内財産区等を対象とした安全講習会の参加人数。					
事業遂行時懸案事項等	若い人材に山への興味・関心を養う。					
事業実施時懸案事項対応等	林業について、幅広く知識・興味を持っていただくため、今回初めて植林の講習を行った。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 193 円

項目	28年度予算	29年度予算	30年度予算	31年度予算
事務量	①人 工 数	0.17	0.17	0.17
	②人 件 費 単 価	7,289	7,381	7,350
	③補 助 事 業 人 件 費			
	人 件 費(①×②-③)	1,239	1,254	1,249
事業費	直接事業費	600	450	450
	人 件 費	1,239	1,254	1,249
	合 計	1,839	1,704	1,699
財源内訳	国 庫 支 出 金			
	県 支 出 金			
	地 方 債			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,839	1,704	1,699
	合 計	1,839	1,704	1,699

事業費計画

(千円)

区分／年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	600	450	450	450	
実 績	600	450			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 188 円

※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項目		28年度決算	29年度予算	29年度決算	
事務量	①人 工 数	0.17	0.17	0.17	
	②人 件 費 単 価	6,768	7,381	7,129	
	③補 助 事 業 人 件 費		0		
	人 件 費(①×②-③)	1,150	1,254	1,211	
事業費	直接事業費	600	450	450	
	人 件 費	1,150	1,254	1,211	
	合 計	1,750	1,704	1,661	
財源内訳	国 庫 支 出 金		0		
	県 支 出 金		0		
	地 方 債		0		
	そ の 他		0		
	一 般 財 源	1,750	1,704	1,661	
	合 計	1,750	1,704	1,661	

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	亀井 隆行
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か?		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4 4 4 4	B
2. 町が実施する必要があるか?			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の□にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		5 4 5	A
3. 実施内容は適切か?			
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		5 4 4	A
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		5 4 5	A
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		5 4 4	A

今後の方向性	見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

林業を取り巻く厳しい状況のなか、国土保全、水源涵養等の森林の多面的機能を維持していく必要がある。森林の保全・管理を続けていくのに後継者の育成は必要不可欠である。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

若い世代に、山に入る機会を増やし、興味を持つもらう取組を増やしていく。
また維持管理を行うことで、災害対策にもつながるので、維持管理に関する講習を検討していく。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	阿部 桂介
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

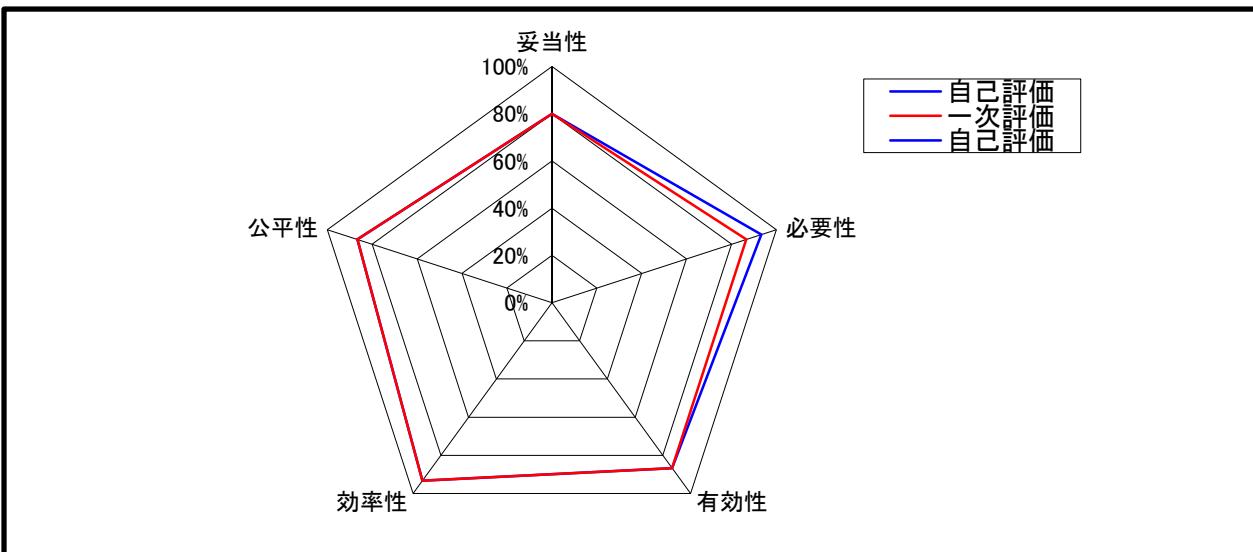
評点	判定
3	B
4	
5	
4	
1. そもそも必要な事業か？	
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	
2. 町が実施する必要があるか？	
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の□にチェックしてください。	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	
3. 実施内容は適切か？	
①有効性	
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	
②効率性	
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	
③公平性・透明性	
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	

今後の方向性	見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

木材価格の低下により収入源が無い中で、公有林を荒廃させないよう公有林管理組織内で森林管理の必要性を引き継いで行くためにも若年者の育成は必要不可欠であり実施財源のため行政の補助も必要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

川上 克彦

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

山の環境を維持するためにも後継者の育成は重要である。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ
提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価



外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価



経営者会議の評価

--